

安城発！大玉・高糖度の梨

「安城梨 甘ひびき」収穫スタート！

【7月下旬に安城市内で収穫風景をご紹介します。】

J Aあいち中央梨生産部会（部会長：寺島正憲）が栽培する「安城梨 甘ひびき」が、7月下旬から収穫をスタートします。大玉で糖度が高いことが最大の特長です。「甘ひびき」は、同部会の部会員である安城市の猪飼孝志さんが育成（開発）したものです。

同部会では、今年15トンの出荷を予定。当J Aのファーマーズマーケットでんまあと刈谷南・安城北部・安城西部、産直センター「道の駅」デンパーク安城の4店舗で7月下旬から8月上旬まで販売します。2017年からは安城市のふるさと納税の返礼品となっています。



生産者により一つ一つ丁寧に収穫される「甘ひびき」

今年は開花が早く、適度な降雨と日照があったため、大玉で高品質な梨の出荷が予想されます。

「甘ひびき」とは

「甘ひびき」は、安城市橋目町の猪飼孝志さんが極早生品種の梨「愛甘水」をもとに育成し、2010年3月に品種登録されました。出荷は今年で10年目となります。（「愛甘水」も猪飼さんが育成した梨です）

<「甘ひびき」の魅力>

- ・「幸水」よりも大玉で、大きいものでは800g以上
- ・糖度は13度以上と甘味が強い
- ・水分が多く、シャキシャキとした食感



糖度が高い「甘ひびき」

J Aあいち中央梨生産部会

部 会 員：81人（内、甘ひびき栽培農家49人）

栽培面積：約34.7ヘクタール（内、甘ひびきは約2.1ヘクタール）

総出荷量：約170トン（内、甘ひびきは約14.1トン）（2022年度実績）

流 通 先：甘ひびきの多くは、当J Aの、でんまあと刈谷南・でんまあと安城北部・でんまあと安城西部・「道の駅」デンパーク安城で販売します。甘ひびき以外の梨は中京市場を通じて、愛知県と岐阜県で販売します。

<メディア対応日>

日 時：2023年7月27日（木）午前10時00分

集合場所：J Aあいち中央総合センター（安城市赤松町浄善50）内、管理棟前

※取材当日は、安城市内の梨（甘ひびき）園で収穫風景の撮影と生産者へのインタビューを予定しています。

※防犯上の都合により、場所が特定される外観の撮影、町名の表記等はお控えください。

※天候や作業状況等により、日時・集合場所が変更になる場合があります。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

J Aあいち中央総合企画部企画課広報強化対策室（担当：高瀬、杉浦、山村）

TEL：0566-73-5504／携帯：080-3667-3853／E-mail：kouhou@jaac.or.jp